

予算審査 PICK UP ①

一般会計予算356億8,000万円 前年度比2.9%減
事業見直しを含めた縮減予算

討論
徴収強化を図る債権管理課の新設、
プライバシー漏洩が心配な窓口業
務の民間委託、2025年度には、正規職員
500人を目指す「第3次香取市行財政改革
大綱」による正規職員の更なる削減等、市民
サービスの低下が懸念される。また、年金が
削減され、所得も増えない中、国民健康保険
税の課税限度額、介護保険料、後期高齢者医
療保険料・賦課限度額の引き上げ等、市民の
負担は増すばかりであることから、市民生活
を更に厳しくさせる本予算に反対である。

Q 行財政改革として、歳出削減対策、財源
確保対策は、平成30年度予算へのよ
うに織り込んでいるのか。
A 歳出削減対策としては、歳出で大きな
割合を占める人件費を抑制するため、
香取市職員定員適正化計画に基づき、職員14
人減で算定しています。財源確保対策として
は、財政運営の根幹である市税等の徴収強化
を図るため、滞納処分等を一元的に行う債権
管理課を新設し、効果的に取り組んでいま
す。また、市民課の業務のうち、住民票等の証
明書発行業務に加え、国民健康保険業務、後
期高齢者医療業務、国民年金業務の窓口事務
を民間へ委託するため4257万3千円を計
上しています。その他に、さまざまな補助金や
事業の必要性等を評価するため、調査委託料
500万円を計上し、外部評価、いわゆる事業
仕分けを行います。

「みんなのお金」の
使い道をチェック



予算の
内訳

■一般会計予算
356億8,000万円

■特別会計予算
201億5,110万円

- 国民健康保険事業 100億6,000万円
- 介護保険事業 68億3,800万円
- 農業集落排水事業 1億9,100万円
- 観光事業 1億3,400万円
- 下水道事業 16億8,300万円
- 土地取得事業 10万円
- 後期高齢者医療事業 9億4,100万円
- 太陽光発電事業 2億3,400万円
- 専用水道事業 7,000万円

■公営企業会計予算
53億6,872万円

- 水道事業 (収入) 46億8,950万円 (支出) 51億2,696万円
- 簡易水道事業 (収入) 2億1,020万円 (支出) 2億4,175万円

第2次香取市総合計画に
向けた予算編成を注視

3月5日から7日までの3日間にわたり予算審査特別委員会を開催し、平成30年度の
予算を審査しました。審査の結果、当初予算は全て原案のとおり可決しました。



審議された議案 計47件

市長提出議案 42件 / 修正動議 1件 / 陳情 4件

3月定例会 審議結果

平成30年3月定例会を2月20日から3月14日までの23日間にわたり開催しました。
平成30年度一般会計・特別会計・公営企業会計予算をはじめ、平成29年度補正予算、
条例の制定および一部改正、人事案件などを審議しました。

